

令和6年度使用小学校用教科用図書

選 定 資 料

令和5年6月

広島県教育委員会

はじめに

広島県教育委員会は、令和6年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科等の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

令和5年6月

広島県教育委員会

目 次

教科用図書選定資料について	1
国 語	2
書 写	17
社 会	25
地 図	42
算 数	49
理 科	68
生 活	83
音 楽	105
図画工作	118
家 庭	129
保 健	140
英 語	162
道 徳	175

教科用図書選定資料について

1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に記載された教科用図書について、種目別に、次の5つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

平成29年に告示された小学校学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で児童に生きる力を育むことが示されています。また、学習の基盤となる資質・能力の1つとして挙げられている言語能力の向上を、児童の学びの質の向上や資質・能力の育成に関わる重要な課題として受け止め、重視していくことが求められています。

さらに、広島県では、平成27年度から広島版「学びの変革」アクション・プランに基づく、主体的な学びの創造を目指して取り組んできました。

そのため、観点2として、「主体的に学習に取り組む工夫」、観点5として「言語活動の充実」を設定しています。

なお、それぞれの観点の下に、種目ごとに学習指導要領の目標に基づき視点を設定しています。

2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名	番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社	38	光村	光村図書出版株式会社
4	大日本	大日本図書株式会社	46	帝国	株式会社帝国書院
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	50	大修館	株式会社大修館書店
11	学図	学校図書株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
15	三省堂	株式会社三省堂	116	日本文教	日本文教出版株式会社
17	教出版	教育出版株式会社	207	文教社	株式会社文教社
26	信教	一般社団法人信州教育出版社	208	光文	株式会社光文書院
27	教芸	株式会社教育芸術社	224	学研	株式会社Gakken